

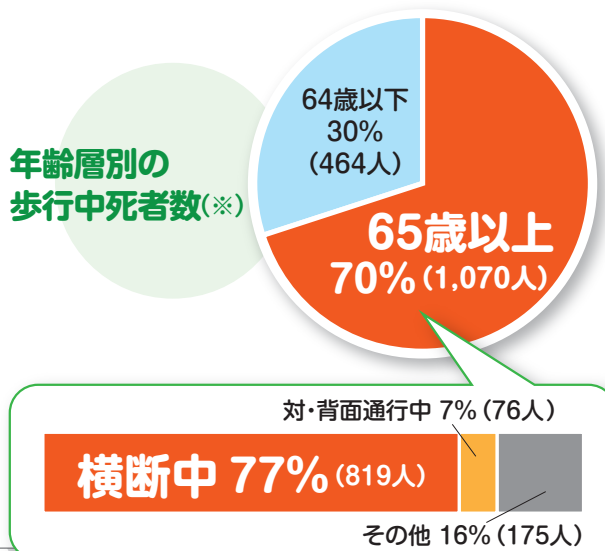


交通事故防止!

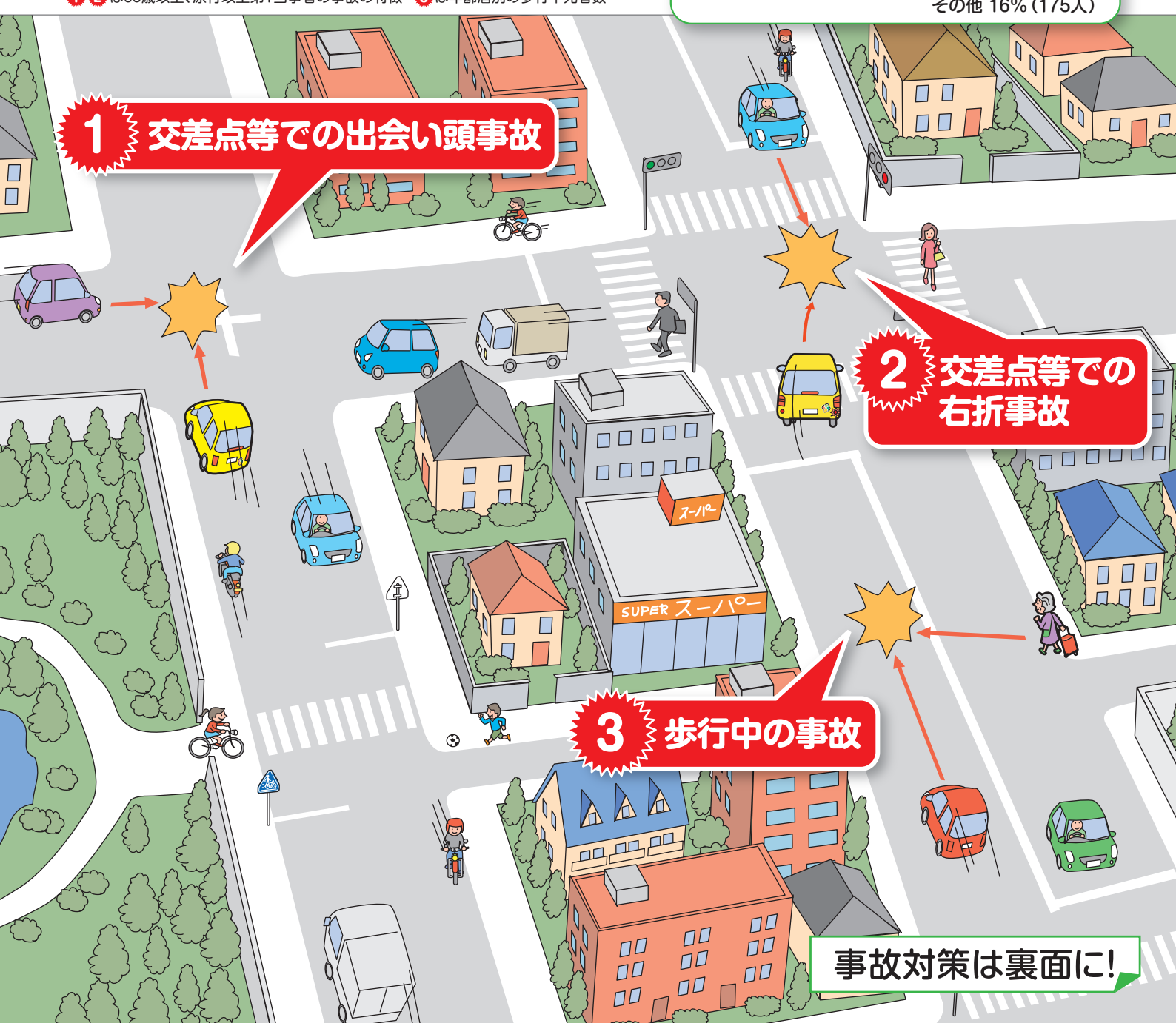
加齢に伴い、視力・聴力・認知判断力や筋力など、身体機能が変化し、また、長年の「習慣」で危険な行動をとってしまうことも。交通事故の「加害者」にも「被害者」にもならないために、身体機能に応じた安全な行動を実践しましょう。

65歳以上の方に多い事故(※)

- 1 交差点等での出会い頭事故**
65歳以上のドライバーの交通事故のうち、約3割が出会い頭事故です。
- 2 交差点等での右折事故**
65歳以上のドライバーの交通事故のうち、6件に1件は右折中の事故です。
- 3 歩行中の事故**
歩行中事故の死者数のうち約7割が65歳以上、そのうち約8割が道路横断中です。



※交通事故データは、2015年中の警察庁統計による
①②は65歳以上、原付以上第1当事者の事故の特徴 ③は年齢層別の歩行中死者数



1 交差点等での出会い頭事故

2 交差点等での右折事故

3 歩行中の事故

事故対策は裏面に!



交通事故を防ぐには？

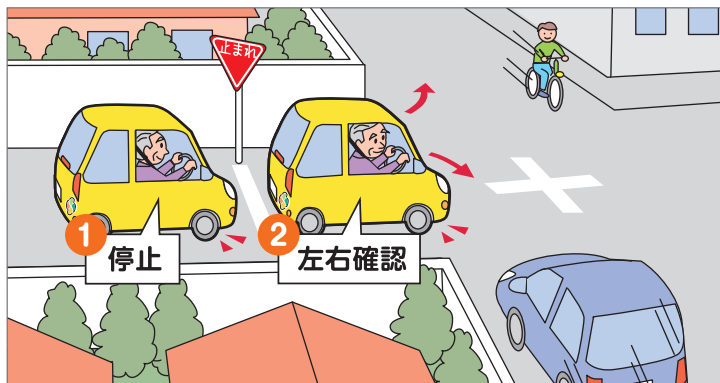
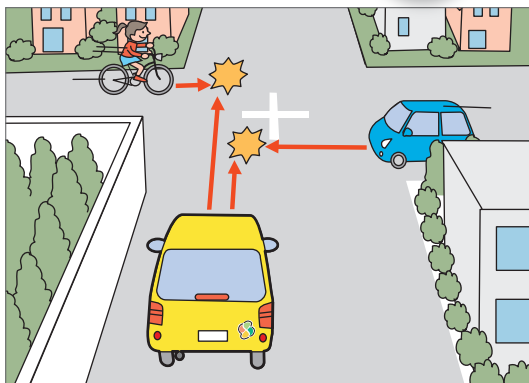
必ずやってほしい3つの行動！



ドライバーの

行動 1

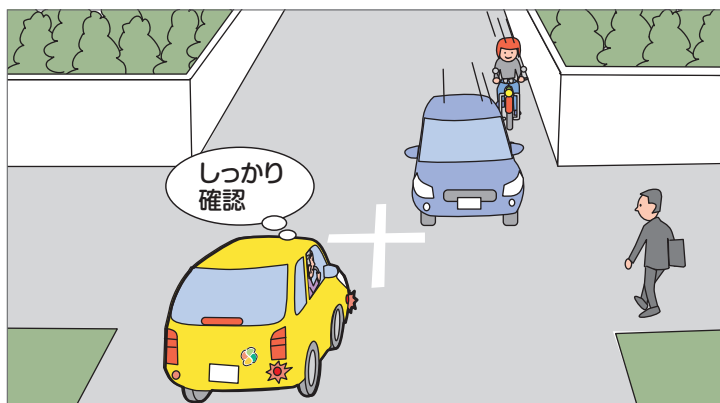
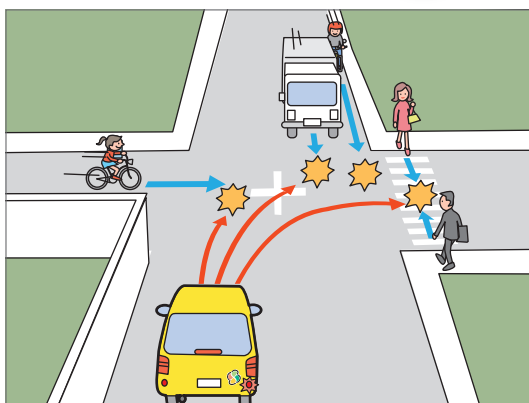
見通しが悪ければ、徐行が必要。
一時停止の交差点では、しっかり停止！



ドライバーの

行動 2

右折は急がず確実に！ 急いで曲がると
安全確認がおろそかに。対向車の速度を見誤ったり、
対向車の陰のバイクなどを見落とすことも！



このほか「追突事故」や「工作物に衝突するなどの死亡事故」も多発しています。
しっかり前を見て的確な運転操作に努めるほか、体調の悪いときは運転を控えるなどの配慮も必要です。

歩行者の

行動 3

左右の安全確認！信号のある交差点や横断歩道
を渡ろう！ 特に夕暮れから夜間、早朝は反射材を付けて
自分の存在を車にアピール！

